



7月下旬――

夏休みを迎えた
姪の鈴香が
俺の家に来た

叔父さん
久しぶりー

今日から
お世話になります！

おう

すごい
荷物だな

終業式終わって
そのまま
来たからねー

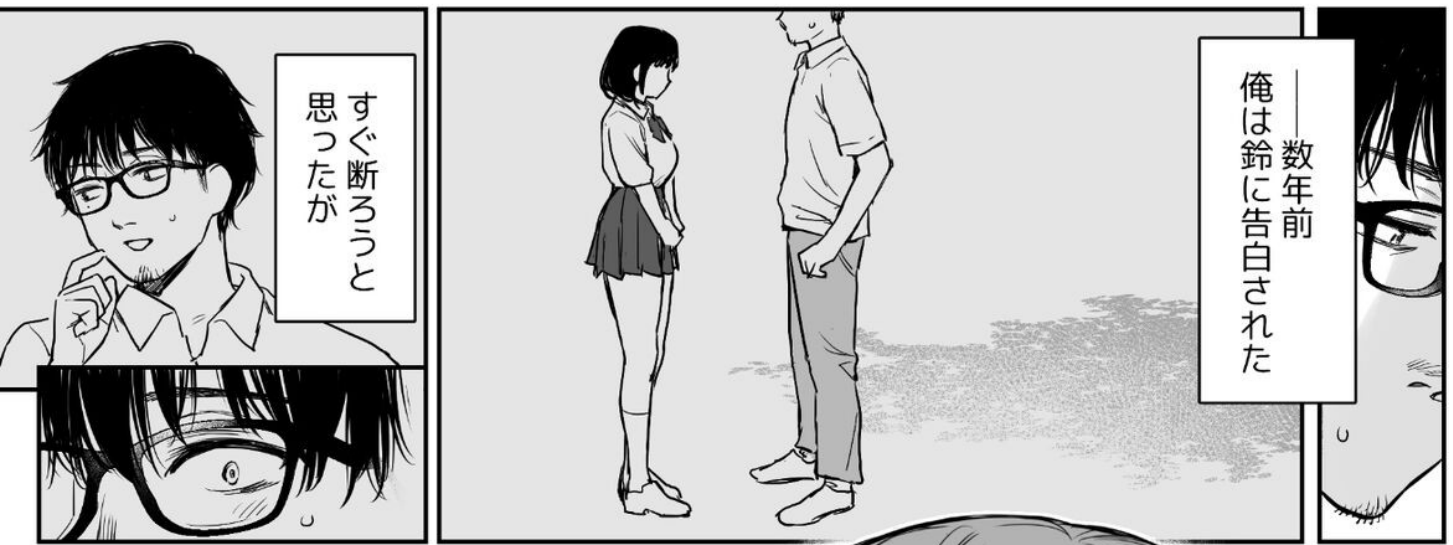
ああ
だから制服！

涼しくて
誘惑の少ない田舎で
勉強に打ち込むため…

というのは
ただの言い訳

鈴がウチに来るのには
別の理由がある…









私がいたら
気が散る？

いや…



お…おい

駄目だろ…

ダメって
どうして？



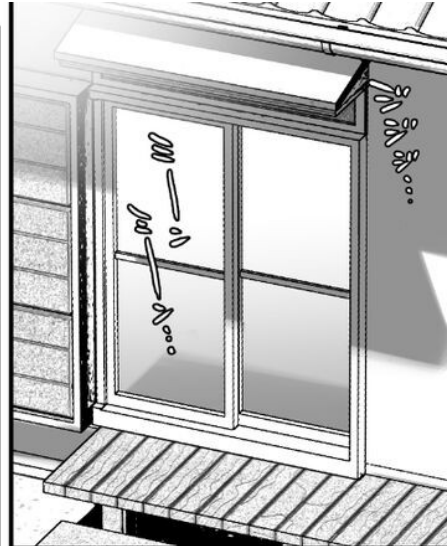
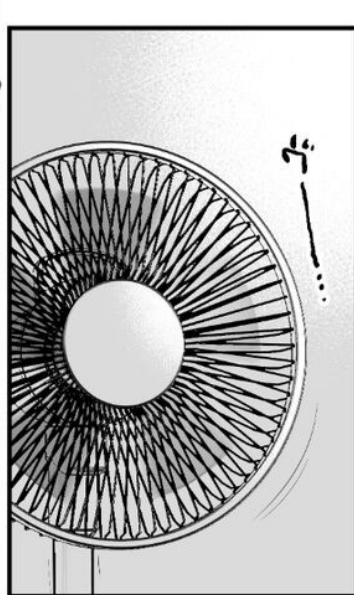
これつけて
舐めるだけなら
いい？

っ…



どうしてって
俺たちは…

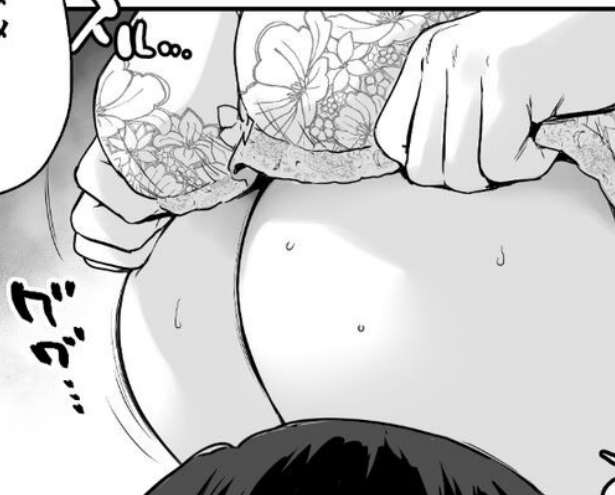
じゃあ







ダメ
だったら…



グ
グ…



鈴…っ
駄目だっ…

し
し
し



こんなに
大きく
ならないよね？

で
で
か
っ

柔らかっ…

!!



いいっばい
出して♡



すごい

ビクビク
いってる♡

にゅる

す…鈴っ
もう…

いく？
イッて
いいよ



駄目だ…
こんなのっ

分かってる
のに…！



わっ
♡

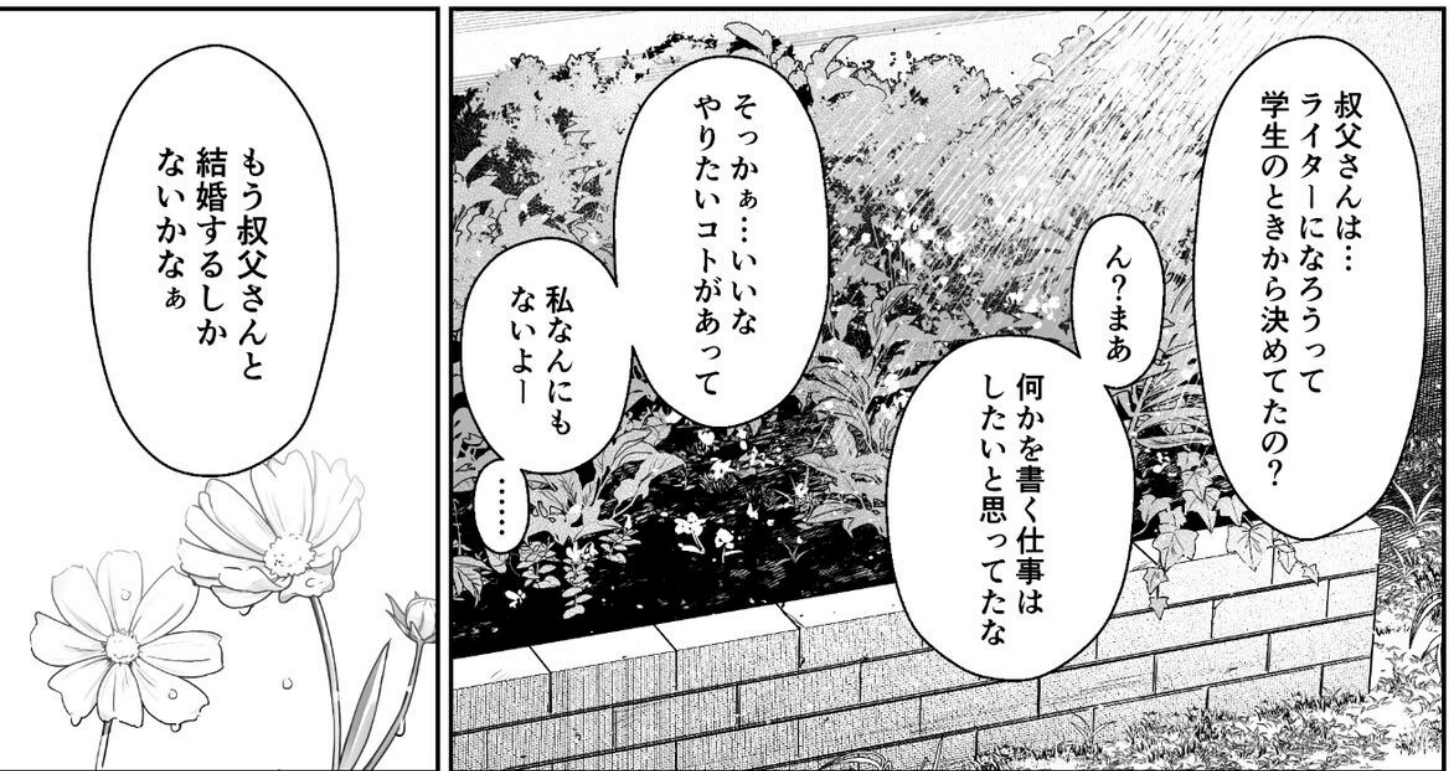
く
♡

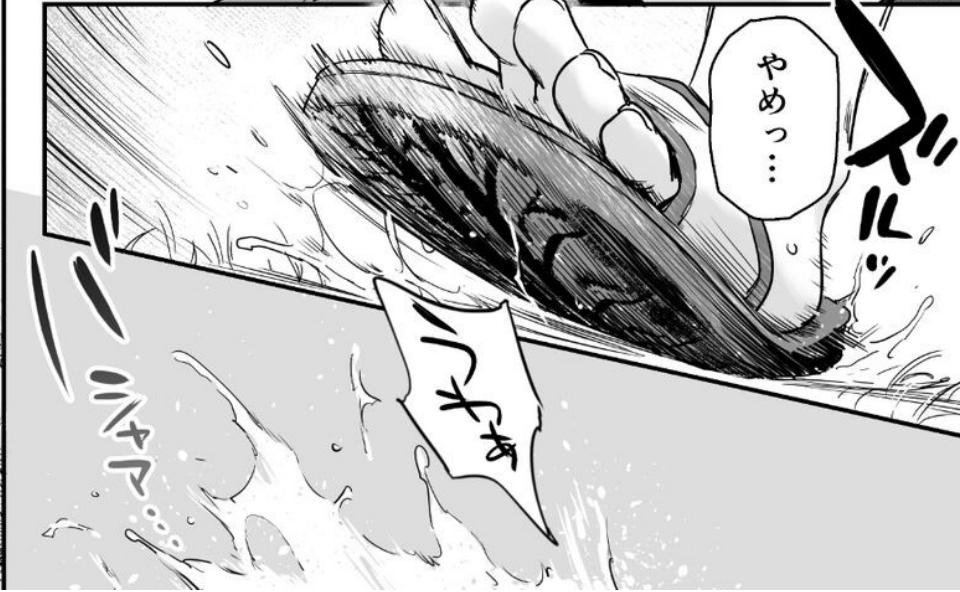
わっ
♡













す…鈴…

グシッ…

ぽろ…♡



ほら
お前が
暴れるか…



お前…



どうしよっか

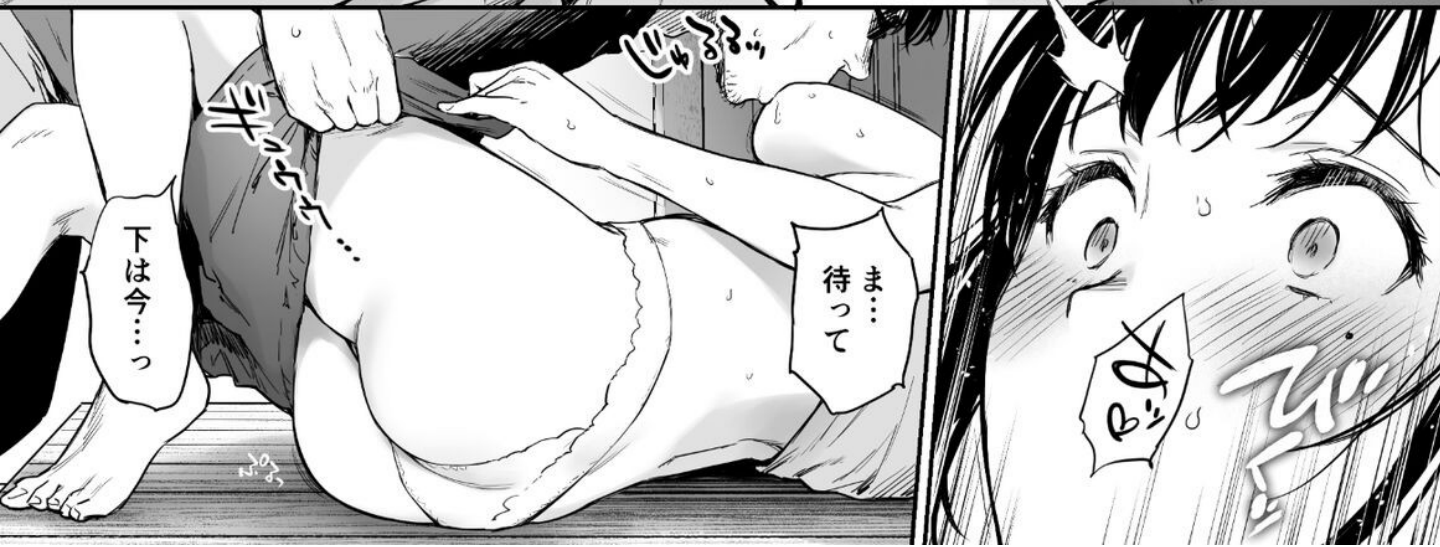
叔父さん…♡



びしょ濡れに
なっちゃった…

ぴちゅ…







あ…♡
太ももで挟むのっ？

んっ…♡

私の太ももから
先っちょ
出てきた…♡



気持ち
いいの？

ねえ
このまま
挿入れようよ♡

っ…
それは
ダメだろっ

ヌルヌル
してきたよ…



私も叔父さんと
気持ちよく
なりたいな♡

生のほうが：
気持ちいいん
でしょ？

誘惑に
負けたら...っ

ダメだっ

バカ
言うなっ

入れて...

叔父さん
入れてよ...♡

私のナカ
寂しいよお...♡

く...っ

ひっ♡

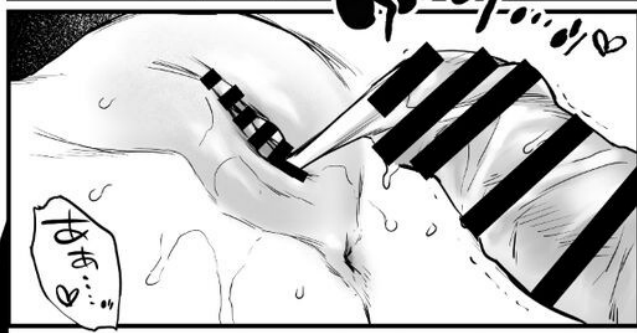
はぁ...♡







それから

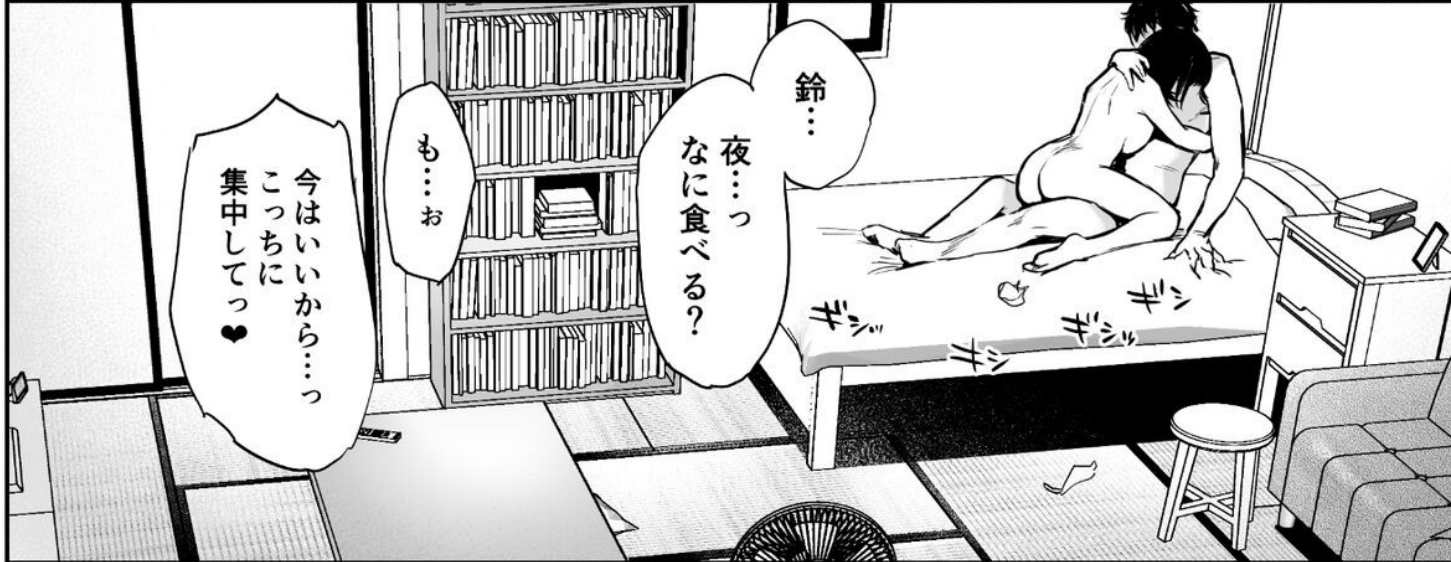


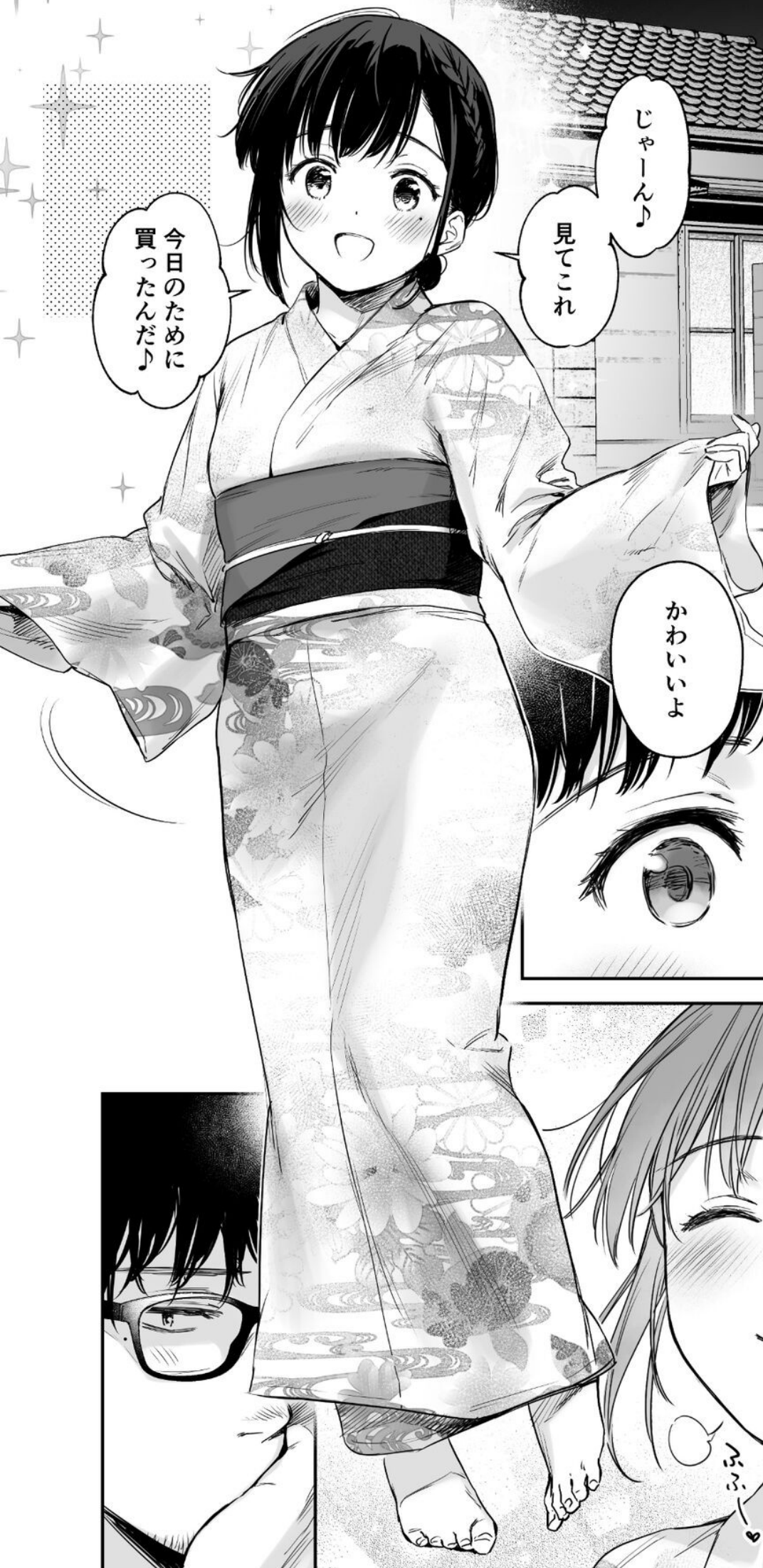
タガが外れたように
俺たちは
セックスしまくった…



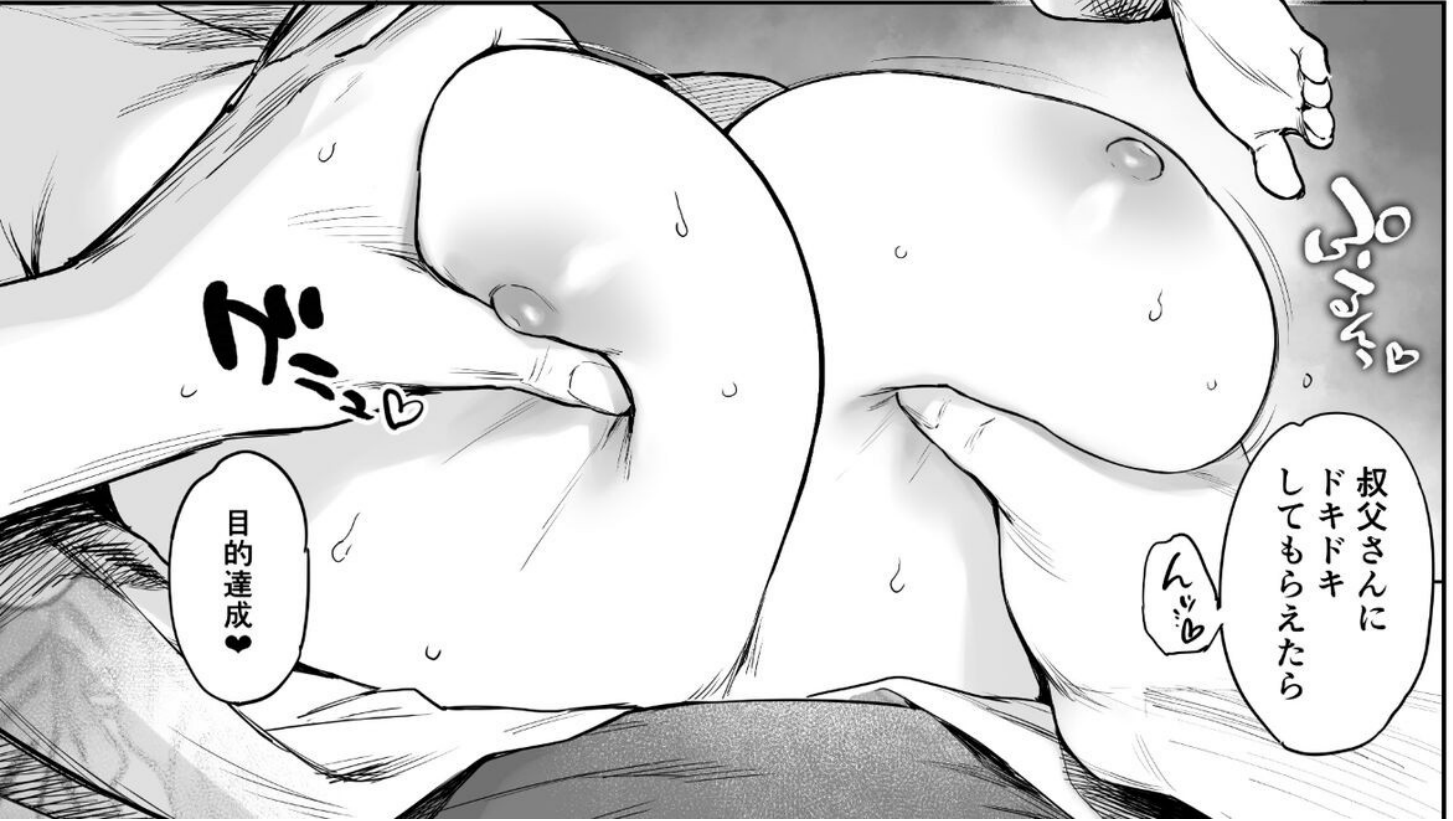
これが俺たちの
日常になっていた

前まで確かに
あったはずの葛藤は
すっかり薄れて

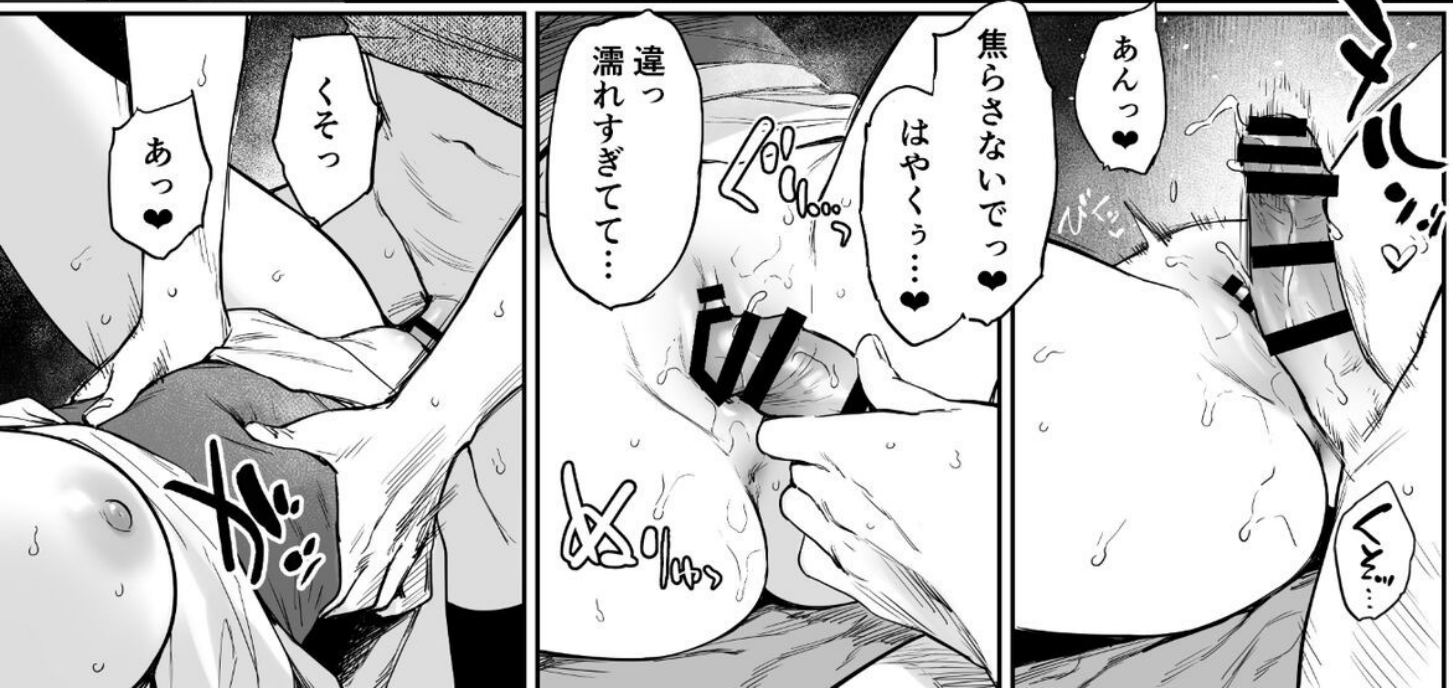














中でビクビクして
熱いよお♡



んっ
んぷっ
んっ♡

ちくび
カリカリ
すきっ♡



挿入っ
きたあ…

叔父さんの
生のおちんちん…♡



声っ…が
でちゃうう♡

待っ
激しす…っぎ











中出し...

こんなに
いっぱい...

あっ
ふっ
ふっ

ふっ
ふっ
ふっ

ふっ
ふっ
ふっ

ふっ
ふっ
ふっ

嬉しい...

ふっ
ふっ
ふっ

ふっ
ふっ
ふっ



——ねえ
東京引っ越して
きなよ

バカ言うな



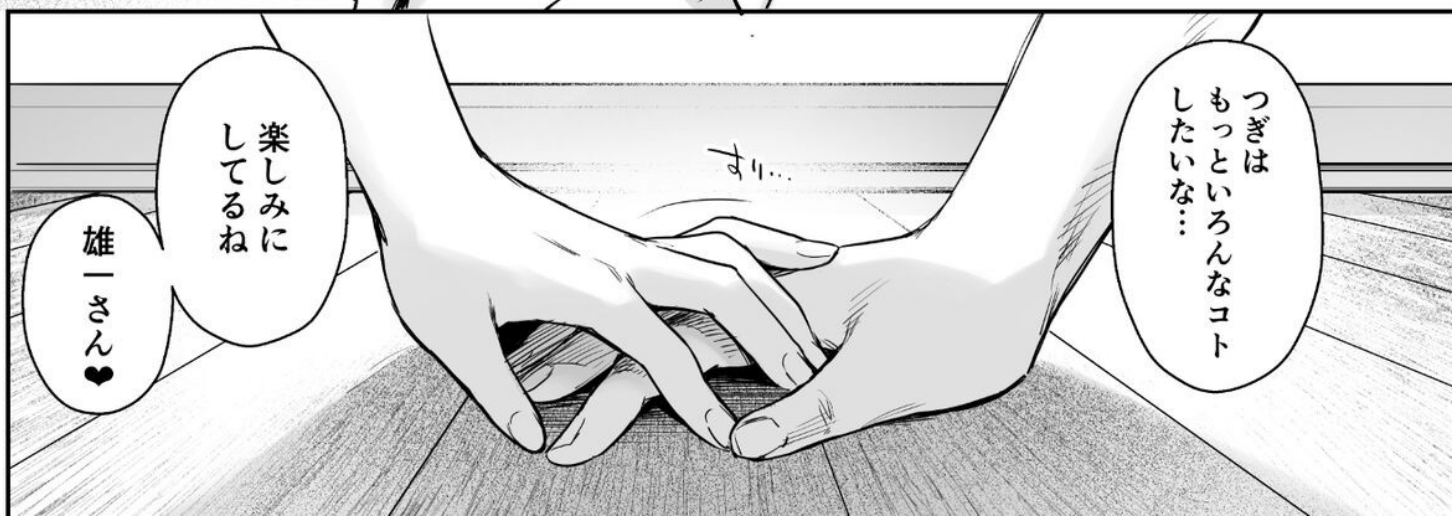
…それじゃ

つぎ会えるのは
冬休みだね♡



どこでも出来るのが
ライターの良いところなのに
わざわざ家賃あげるか

ケチー



つぎは
もっといろんなコト
したいな…

すり…

楽しみに
してるね

雄一さん♡

とある夏、姪とふたりきり。

作画

うまうち醤油 様
Pixiv / 809099
X / @umakuchu

シナリオ

なつぺそ 様
Pixiv / 91099
X / @natsupe

デザイン

よしかわWorks 様
X / @ysnt_design

企画・編集

どうしょく

X



Pixiv



Fantia



本データの無断転載・複製を固く禁じます。

Unauthorized reproduction or reprinting of this data is strictly prohibited.